

みんなくりポジトリ

国立民族学博物館学術情報リポジトリ National Museum of Ethnology

友達以上、恋人未満：
韓国におけるパンの微妙な位置づけ

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 公開日: 2015-03-23 キーワード: 作成者: 太田, 心平 メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/10502/5525

友達以上、恋人未満

—韓国におけるパンの微妙な位置づけ

太田 心平

(おおた しんぺい)
1975年生まれ 大阪府出身
大阪大学大学院・特任助手
専門分野・文化人類学・韓国朝鮮地域研究

全国的に展開された日本に対して、韓国では近年まで学校給食自体が制度化されたことがなかった。しかも、学校給食にパンが出るという話は、当の韓国人たちもまだ聞いたことがないのだそうだ。

そもそも韓国ではパンが主食や主食の代用と認識されなかった。国民食生活改善運動で主食として奨励されたのも、パンよりは豆類や雑穀類を混ぜた米飯だった。いまやパンは韓国でも至るところで買えるようになったものの、その位置づけが日本ほど高いとは決して思えない。では、韓国人にとって主食とは、そしてパンとは何なのだろうか？

韓国人にとっての「食事」

日本語の「ごはん」と同じく、韓国語の「밥」ということばにも米飯と食事という二つの意味がある。しかし、「面白いことに、韓国語の「食事」ということばにも同じくこの二つの意味がある。例えば、米飯を含まないものを昼食に食べた後に誰かの家を訪問し、「食事した？」と聞かれたら、「ハンバーガーを食べた」などといちいち答えるか、米飯を食べたものと誤解されるのを

「♪恋人でもない、でも友達でもない。居心地の悪い関係に嫌気がさして僕は去る」

ピノキオというグループの九二年のヒット曲「恋と友情の間」をもじって、韓国のある友人がパンの歌を作った。

「♪海苔巻きでもない、でもラーメンでもない。居心地悪い部分が嫌で僕は食べない」

韓国におけるパンの普及過程

韓国・朝鮮地域でパンが普及したのは二〇世紀前半に日本の植民地となつてか

らで、このため韓国語でもパンは「パン」という。その後の韓国では、日本と同様にパンが暮らしに身近なものとなった。朝鮮戦争の終結後には米国の食糧援助として小麦粉が流入し、六〇年代以降の農村振興運動（「セマウル運動」）でも小麦の栽培と製粉が奨励された。また、七〇年代半ばまでは慢性的にコメが不足したため、その対策として粉食奨励運動（「国民食生活改善運動」）が行なわれもした。こうしてパンは韓国社会に普及していったと言えよう。

ただ、日韓の間には大きな違いも見られる。まず、パンを主食とした学校給食制度が

承知で「はい」と言うか、どちらかでなければならぬ。しかも、「ハンバーガーを食べた」と言えば、「そうですか。では食事をどうぞ」などと二度目の昼食を出されてしまうことも多い。

もちろん、韓国人がコメばかり食べているとは限らない。正当な食事である米飯の他に、麺類など、例えば冷麺、インスタント・ラーメンやチャジャンミョン（韓国式ジャージャー麺）が食事の代用になる場合も多々ある。ただし、どのような場合であっても食事を米飯以外で済ますことは好まれないし、昼は麺類なら夜は必ず米飯を食べるというように、米飯を欠かさないというのが一般的である。それに、いくら簡単に済ます場合でも、せめて海苔巻きを食べることにするため、韓国の街中にはパン屋やハンバーガー・ショップよりも、むしろ海苔巻きの専門店が多い。

韓国人にとってのパン

面白いデータがある。ソウル近郊に住む高校生四八五名を対象として、パンの主な用途を尋ねた九九年の調査結果である。小

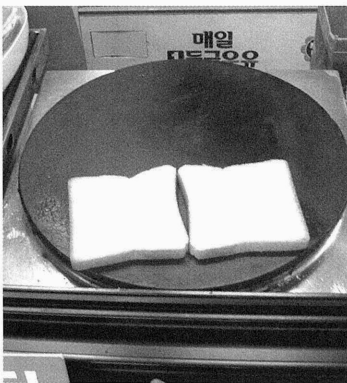
数点以下を四捨五入して紹介すると、「食事用」と答えたのが一一％程度だったのに対し、八六％以上は「間食用」と答えたという。また、パンを食事にする頻度は、「ほとんどない」が二八％、「月に一〜二回」が三四％、「週に一〜二回」が二五％となっている。パンを食事にすることに対する考え方を聞いても、「とても好ましい」は四％程度、「好ましい」は二八％程度しかない。つまり、たとえ現代っ子たちであっても、韓国人にとってパンは食事になりにくいのだと言える。

冒頭で紹介した替え歌の話に戻ってみよう。これは、最近ソウルの繁華街に増えているトースト売りのスタンドを見て、私が「最近海苔巻きの代わりにトーストを買うのが流行だね」と言った際のエピソードである。それに対して彼はおおよそ、「それは違うね。トーストは間食で、海苔巻きは食事の代用さ」と答えながら、「俺は間食を出るだけ食べないようにしている。それに、粉食は体に悪いっていうじゃないか」というような説明をしてくれた。そして、彼にとって忙しい時の「友達」、つま

り食事の代用となるものは海苔巻きや餅類であり、米飯に飽きた時は（いけないことと思いつつも）麺類に「浮気」をするのだそうだ。このどちらでもないものは「居心地悪い」から「嫌で食べない」らしい。「パンは友達以上、恋人未満。あるいは他人。友達でも恋人でもない配偶者は、もちろんコメのこはんさ」。

参考文献

- イ・ヨンギョン「パンに関する高校生の認識と撮取の実態——平澤地域を中心に」慶熙大学教育学部一九九年度修士論文（原文韓国語）
- 落合雪野「朝鮮半島における雑穀の民族植物誌」朝倉敏夫（編）『七の』から見た朝鮮民俗文化 新幹社 二〇〇三年 184-198。
- 太田心平「韓国の国民食「チャジャンミョン」とその心」Nesta 59 | 二〇〇五年：14-17。



街のスタンドで売られているトースト。ハムや卵やチーズを挟むが、とても甘い。（筆者撮影）